



HPはこちら

車両メンテナンス業務の一部委託について 新幹線統括本部より提案を受ける

東日本ユニオンは10月24日、新幹線統括本部より「車両メンテナンス業務の一部委託について」の提案を団体交渉で受けました。本提案は「新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新幹線総合車両センターの業務を一部委託する」としています。

○実施事項

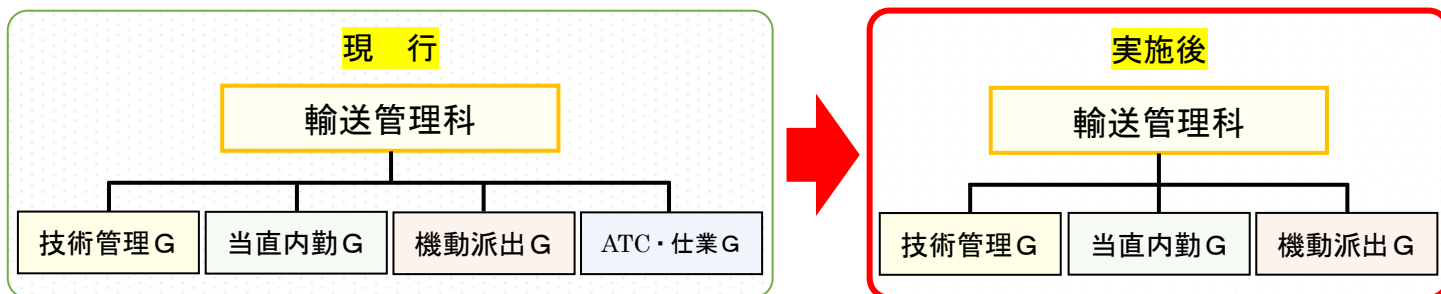
★輸送管理科で担当している業務のうち、以下の業務をグループ会社に委託する

- ・ 仕業検査業務
- ・ ATC 特性検査
- ・ 列車無線外観検査
- ・ 車輪径設定業務（台車検査等の台車振替後、および車輪削正時）

★検査科で担当している業務のうち、以下の業務をグループ会社に委託する

- ・ 交番検査時の車軸探傷検査

★輸送管理科の業務運営体制を変更する



○提案箇所体制

- ・ 別途、知らせる

○実施時期

- ・ 2023年10月1日

＜新幹線統括本部の主な考え方＞

- ・ 新幹線の技術レベルは、着実にグループ会社も技術が蓄積されてきたと認識。
- ・ 将来に向け、持続的なメンテナンス体制を構築するために「グループ会社が持つフィールドを拡大させていく」施策である。
- ・ 準備を含めて教育に時間を要する。
- ・ 現在いる社員全員が出向することは想定していないが、出向自体はあり得る。

安全でお客さまに快適な新幹線車両を提供する 車両メンテナンス体制をつくりだそう！

「一職場の業務委託」と切り縮めることなく、車両メンテナンス全体で議論しよう！